※令和４年度以降入学生用

学校番号	102

令和８年度　国際文化科

教科	国際文化科	科目	(学)日本語文化Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日本語の言葉や漢字、文法の学習（N2,N1 レベル）を主体的にし、日本語の習得を目指しましょう。
・日本語の 4 技能の習得を目指し、自分の考えを作文や発表などを通し伝え、日本語の表現力を身につけましょう。
・本文の内容について整理し、理解を深め、日本語文化についての理解を広げましょう。

2　学習の到達目標

・日本語を母語としない生徒が、日本語で聞いたことや読んだことを理解し、日本語で自分の考えなどを話し、書くための基礎的な能力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・ひらがな、カタカナ、漢字の交ぜ書き、また縦書きと横書き、様々なジャンルの日本語の理解に慣れる。	・N2/N1 レベルの文型や文法事項の理解をすすめ、生活言語から学習言語としての日本語が活用できるようにする。	・日本の文化について、生徒自身のルーツとする文化と相対化しながら学習する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期		日本語の表記	a: 日本語表記の異同が理解できる b: 平易な日本語で書かれた文章を正しく発音できる。 c: 日本語表記について、意欲的に理解しようと取り組み、表現するために努力できる。	課題 発問 小テスト 定期テスト	課題 発問 小テスト 定期テスト	課題 観察

※令和４年度以降入学生用

		日本語の文型	a：漢字の音訓の違いが理解できる。平易な日本語で書かれた文章の概要を理解できる。 b：サポートがあれば日本語の辞書や事典を引くことができる。 c：日本語の文型について、意欲的に理解しようと取り組み、理解した内容を発表できるようになる。	課題 発問 小テスト 定期テスト	課題 発問 小テスト 定期テスト	課題 観察
2学期		日本語の文法	a：Ｎ２レベルの言葉、表現、文型を理解することができる。 b：助詞、動詞、形容詞を正しく使い、伝えることができる。 c：日本語の文法について、意欲的に理解しようと取り組み、自分の気持ちや思いを文章で表現することができる。	課題 発問 小テスト 定期テスト	課題 発問 小テスト 定期テスト	課題 観察
		日本語の語彙	a：日本語の語彙を増やし、さまざまな表現の理解ができる。 b：本文の内容を正しく理解し、その内容について、自分の言葉で要約、表現できる。 c：日本語の語彙について、意欲的に理解しようと取り組み、さまざまな状況を自分の言葉で作成し。発表することができる。	課題 発問 小テスト 定期テスト	課題 発問 小テスト 定期テスト	課題 観察
3学期		まとめ	a：N2 レベルの日本語で書かれた文章であれば、ほぼ正しく内容を 理解できる。 b：自分の意見や自分が調べた情報を、既習事項を踏まえて、書くことができる。 c：意欲的に日本語を使って表現したり、深くまで研究して、日本語について理解を深めようとしている。	課題 発問 小テスト 定期テスト	課題 発問 小テスト 定期テスト	課題 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度